

日本政策投資銀行の融資制度に基づく「環境格付」「BCM格付」の
5年連続最高ランク同時取得について

当社は平成29年3月30日、日本政策投資銀行から、同社の「環境格付」および「BCM（Business Continuity Management：事業継続マネジメント）格付」において、5年連続で最高ランクを同時に取得しました。これは、全国初となります。

当社が日本政策投資銀行から評価いただいた点は、以下のとおりです。
（近畿日本鉄道の取組みを主に評価いただきました。）

【環境格付】

- ・CSR委員会を中心に、近鉄グループ中期環境目標を策定し、グループ各社による個別の環境目標策定や環境教育の実施、環境負荷データの集計把握に取り組む等、グループ全体で環境マネジメントシステムを推進している点
- ・中長期の投資計画に基づき、鉄道施設・車輛の省エネ化やLED照明の導入を推進し、環境負荷低減の取組みを継続的に実践している点
- ・近鉄エリアキャンペーンによる自治体と連携した地域プロモーション活動やインバウンドに対応した外国人向け乗車券の販売、乗り心地向上や鉄道施設・設備のバリアフリー化等、鉄道利用者の拡大を促すような付加価値サービスの提供を実施し、かつこうした取組みを積極的に情報開示している点

【BCM格付】

- ・計画的な設備のハード対策、有事を想定した拠点駅参集訓練や避難誘導・応急対応訓練の実施、救急救命にかかる有資格者の確保等を通じ、顧客の安全確保に取り組んでいる点
- ・事業特性に応じた早期復旧戦略として、路線復旧に向けた目標を業務水準に照らし段階的に管理することで復旧時間の短縮化を目指すと同時に、並行して自社グループおよび他社との有事協力協定に基づく迅速な代替輸送を可能としている点
- ・二次取引先まで含めた調査を通じて事業継続上不可欠な主要部品の生産復旧時間等を確認し、順次在庫水準の見直しを進めている他、全社規模の異例事態対応訓練において洗い出された課題を踏まえて、有事の活動班毎に改善点を意識した小規模訓練を実践する等、ボトルネック解消に向けた取組みを継続的に実行している点

当社では、今後もグループ会社とともに、積極的に省エネルギー、省資源、リサイクル、廃棄物の削減などの取組みを通じた環境への負荷低減や環境保全活動を推進するとともに、危機に備えた事業継続マネジメント活動と、事業継続計画の実効性向上に努めてまいります。

以上

※「環境格付」および「BCM格付」とは、日本政策投資銀行の格付システムにより、企業の環境経営度や防災・事業継続への取組みを評点化、優れた企業を選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。